

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。やっと秋の装いが感じられる日が続く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は初土俵から所要9場所目で大関昇進を果たした【大の里（二所ノ関部屋所属）】に注目しました。

大の里は幕下、十両をそれぞれ2場所で通過すると、今年の所要4場所で新入幕。そこからわずか3場所、新小結で迎えた夏場所では12勝3敗で初優勝をしました。

初土俵から7場所目の優勝は幕下付け出しでデビューした力士では最も早く、優勝制度ができた明治42年以降でも最も早い記録となりました。

そして、今年の秋場所でも2回目の優勝を果たし、入門から1年余りで、大いちょうを結えない、ちょんまげ姿のまま、昭和以降では最も早い大関昇進となりました。伝達式では、父親の言っていた『唯一無二の力士を目指す』と力強く決意を述べ、その場にいたご両親を含め、みんなの心に感動をあたえた姿に脱帽の思いでした。

私自身もその場にいるすべての人達を感動させるような言動がとれるよう、日々精進して参る所存です。

寒暖差の続く今日この頃ですが、皆様くれぐれもご自愛ください。

サンライズの物語

リスク回避か本人の意向か—— 正解のないジレンマの中で考える物語



その方は在宅でお一人暮らしをされ子供さんが定期的に訪問され生活をされていた方でした。

毎日通所介護を利用されていた土曜日帰宅してから自宅で転倒され猛暑の中月曜日通所介護の職員が行くまでの間、身動きできずに発見されたのです。

緊急搬送され大腿骨頸部骨折と診断され入院となったのです。以前から歩行不安定で転倒を繰り返していた事もあり長男様からは一人で外出しないようにと言われていたのですが通所介護から帰ると一人で近所のパン屋さんへと出かけていたのです。

以前息子さんより一人暮らしのリスクを考えると施設入所が良いのかと相談があり、ご本人様の意向を確認致しましたが自宅に居たいとの答えだった為在宅での生活を続けていたのです。

転倒のリスクは誰にでも当てはまる事で避けられない事でもあります。自宅での転倒の危険を回避する為外出をさせない事がご本人の意向に添う事にはならないとも思うのです。

正解のないジレンマの中で私たち介護職はいったいどうすれば良かったのか。疑問が残りました。

その方にとって転倒するから外出を控えることが本当に正しい選択なのか・・・その方が外出を望んでいるのであれば、行動する事ができる権利もあるのではないかと・・・

介護保険法の自立支援の観点について考えさせられました。



お誕生日

皆さんでお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせていただきました。
おやつに手作りパンケーキをお出ししました。

NEWS 今月のニュース

介護便利帳アプリ 自ら開発 高岡の 男性 母介護の経験から

高岡市伏木古国府の実家で母親を在宅介護するプログラマー藤田昌宏さん（62）が、在宅介護アプリ「介護便利帳」を作った。「連絡先」や「介護の記録」のほか、おむつなど介護用品が切れる時期を予測する「お買いもの」や、福祉用具のレンタルや利用サービスなどかかる費用を月ごとにまとめる「お金のやりくり」など、自分がほしかった機能を盛り込んだ。アップルのアップストアで取得できる。（松村裕子）

「連絡先」はケアマネジャーやかかりつけ医などの一覧で、画面から架電やメッセージ送信ができる。「介護の記録」は、医師の訪問時に説明できるよう「熱が出た」などと記録する。「健康の記録」は、日々の体温を入力するとグラフで表示さ

れる。「夜中におむつがなくなると大変で、最もほしかった」という機能は「お買いもの」。おむつをはじめ尿とりパットやおしりふきなど購入時に量を入力し、1週間ほど後に在庫を追加入力すると、使用頻度を自動的に計算し、なくなる日を予測する。「お金のやりくり」も、「当初いくらかかるのか分からず、気になっていた」経験から生まれた。支払いをした月ごと、使用月ごとに合計額が分かる。

東京で仕事をしていたが、母（94）がコロナ禍の2022年に寝たきりになり、施設に入所すると会えなくなる恐れがあったため、実家で在宅勤務をしながら在宅介護をしている。個々の機能をまとめたアプリが見つからなかったため自作し、8月に発売した。自分のために作ったが、「少しでも在宅介護がしやす

なれば」とほかの介護者にも役立つことを願う。

「無料で試せるので使ってみてほしい」と今後、不具合を改良する。「どのおむつがいいか」「おむつの臭いが心配」など聞きづらいこと、分からないことを質問して人工知能（AI）が答える機能も加え、さらに使いやすくする考え。



自分の経験をもとに「介護便利帳」を作った藤田昌宏さん＝高岡市伏木古国府で

<中日新聞 24/9/27（月）>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>